

## 第2章 目指す姿と基本方針

### 1 目指す姿

「第1次生涯学習推進計画」では、「いつでも どこでも だれでも 学びに参加できる、学びの機会を市民に提供する」という基本的な考えのもと、『ふれあい わかちあい 学びあう とともに輝くかみす』をキャッチフレーズに掲げ、“学びの機会を提供する”ということを重視し、取り組んできました。

その結果、各部署、関係機関と協力し、幅広い分野で生涯学習に関する取り組みを行い、多くの市民が生涯学習に参加する機会を持つことができました。

その一方で、生涯学習の理念として掲げられている“学習の成果を生かす社会”の実現については、まだ十分に達成していない状況にあります。今後は、学習機会の提供とともに、「学びを生かすまちづくり」がより浸透することを目指していくことが必要です。

また、「まちづくりはひとづくり」と言われるように、ひとづくりは神栖市の重要な課題であり、市民にとっても、人とのつながりや仲間を持つ大切な機会となります。今後は、一人一人への学びの機会の提供とともに、学びによって人と人とがつながることや仲間ができること、また、学びをまちづくりにつなげていくことをより意識して、生涯学習に取り組んでいくことが必要です。

このようなことから、「第2次生涯学習推進計画」では、まちづくりを進めるうえで大切な「ひとづくり」を、学びでつながることによって進めるとともに、学びを生かした「まちづくり」を進めます。

## 学びでつながるひとづくり

市民一人一人が豊かで健やかな心身を育めるよう、いつでも、どこでも、誰でも、学びに参加することができる環境を整備するとともに、個々のニーズや参加しやすい条件などを踏まえた学習機会を提供します。

その結果、多くの市民が学びの楽しさを感じることができるようになるほか、趣味や好み、価値観などが共有できる仲間と出会い、生きがいや行動範囲が広がり、豊かな人生を送る市民が増えることを目指します。

## 学びをいかすまちづくり

学びを通して、知識や経験、技術を得ることで、地域やまちへの関心が高まり、また、ともに学んだり活動したりすることを通して、仲間やネットワークが生まれたり、広がっていくように努めます。

その結果、学びで得た知恵や技術、経験、また、学びでつながった仲間とともに、市内各所で地域特性を生かしたまちづくり活動が広がっていくことを目指します。

また、前回のキャッチフレーズ『ふれあい わかちあい 学びあう とともに輝くかみす』を踏まえ、今後もより、学び合う仲間と支え合っていくことができるまちを目指すこととし、次のようなキャッチフレーズとします。

学びでつながるひとづくり 学びをいかすまちづくり

学びあい 支えあい とともに輝く かみす

## 2 重視すべき点と基本目標

生涯学習を取り巻く国や県の動向、前期計画の検証などを踏まえ、本計画で生涯学習を推進するうえで重視すべき内容をまとめると次のとおりです。

### (1)重視すべき点

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p><b>視点1</b><br/><b>市民の関心事を把握し、多様なニーズを反映させる</b></p> <p>人生100年時代といわれる長い時間を生きるうえで、趣味の時間や学び直しなど、生涯学習が担う役割は大きいと認識されています。</p> <p>市民の学習ニーズは多様化しており、多岐にわたる興味関心に対応するため、市民アンケート調査や講座・イベント後のアンケートなどを通して、生涯学習に関するニーズの把握に努め、年代を問わず多くの市民が興味関心を持つ学習機会の提供に努めます。</p>                                                                               |
| <p><b>視点2</b><br/><b>新たに生涯学習に親しむ市民を増やす</b></p> <p>多くの市民が生涯学習に親しむ一方で、若年層の参加が少ないほか、仕事や家事などの理由で参加を諦めている人たちも多くいます。年齢や性別、障がいや言葉の壁の有無などにかかわらず、生涯学習への参加を望む子どもから大人までの誰もが、希望どおりに学習できるように、誰一人取り残さない学習機会の提供に努めます。</p> <p>また、地域への親しみがより一層高まるように、地域の伝統文化に触れる機会の充実に努めるほか、生涯学習にこれから参加したいと思っている市民や、現在は生涯学習への関心が低い市民に対しても、学びの楽しさや魅力を伝え、参加を促進します。</p> |
| <p><b>視点3</b><br/><b>デジタル化に対応する</b></p> <p>デジタル化の進展により、場所や人数にとらわれず、学びに参加できることが増えています。これまであまりインターネットになじみのない市民から、日常的にインターネットを活用している市民まで、デジタル化による利便性を誰もが実感できるような学習機会の提供に努めます。</p>                                                                                                                                                      |
| <p><b>視点4</b><br/><b>仲間づくりをサポートし、まちづくりにつなげる</b></p> <p>学ぶことで、知識や技術だけでなく、心の豊かさや仲間を得ることができ、さらなる活動につながることも少なくありません。知識や経験、技術の習得はもちろん、仲間をつくること、さらには、その仲間とともに、地域と共につくる学習活動につながるようにサポートします。そのためにも、個々の趣味や教養の習得支援にとどまらず、成果を他の市民へ還元できる仕組みづくりなど、市民主体のまちづくりが進んでいくように努めます。</p>                                                                   |

## (2) 基本目標

目指す姿「学びでつながるひとづくり 学びをいかすまちづくり」を踏まえ、「ひとづくり」「仲間づくり」を基本目標の柱とします。

また、この2つに加えて、これまでと同様に多様な学びの機会を提供する「環境づくり」を位置づけ、次の3つを基本目標とします。

### 基本目標1 未来を担うひとづくり

ひとづくりの対象は子どもから大人まで幅広い年齢が対象となりますが、その中でも、子どもの頃の経験はひとづくりに大きく影響します。

子どもたちは、さまざまな体験や集団生活の中で社会とのつながりを学ぶことを通して、自分の力で人生や社会をよりよくできると実感でき、変化の激しい社会でも困難を乗り越え、未来に向けて進む希望や力を得ることができます。そのためには、社会や地域と連携・協働した教育活動を充実させることがより一層必要です。

家庭だけでなく、地域・学校みんなで子どもたちを育て、未来を担う人材を育成します。

### 基本目標2 学びを支える環境づくり

市民が学びたい内容は多様化しており、それらのニーズを踏まえた学習機会を提供していくことが期待されています。市民が求める学習ニーズを把握し、市民の関心の高い学習機会の提供に努めます。

一方、社会の変化が激しい今日においては、学校を卒業し、社会人となった後も、学びを重ね、新たな知識や技能、教養を身に付けていくことが重要とされており、市民を取り巻く社会問題に対応した学習内容を提供していくことが必要です。特に近年はインターネットを通じた学習機会が増えており、オンラインによる学習形式を取り入れるなど、デジタル化に対応した学習機会の提供や、そのために必要な知識の習得を支援することも期待されています。

これらのことを踏まえたうえで、多様な学習機会を提供するとともに、学びたいときに誰もが学べる環境づくりに努めます。

### 基本目標3 学びでつながる仲間づくり

市民の学びが、まちづくりにつながっていくためには、ともに活動する仲間ができることが重要です。また、仲間をつくることは、住み慣れた地域や住まいで生きがいを持って暮らし続けたり、健康づくりにつながる活動を続けていくためにも、重要とされています。

生涯学習に参加することで、人とのつながりを持てたり、仲間づくりができたり、交流の輪が広がる機会となるように努めます。

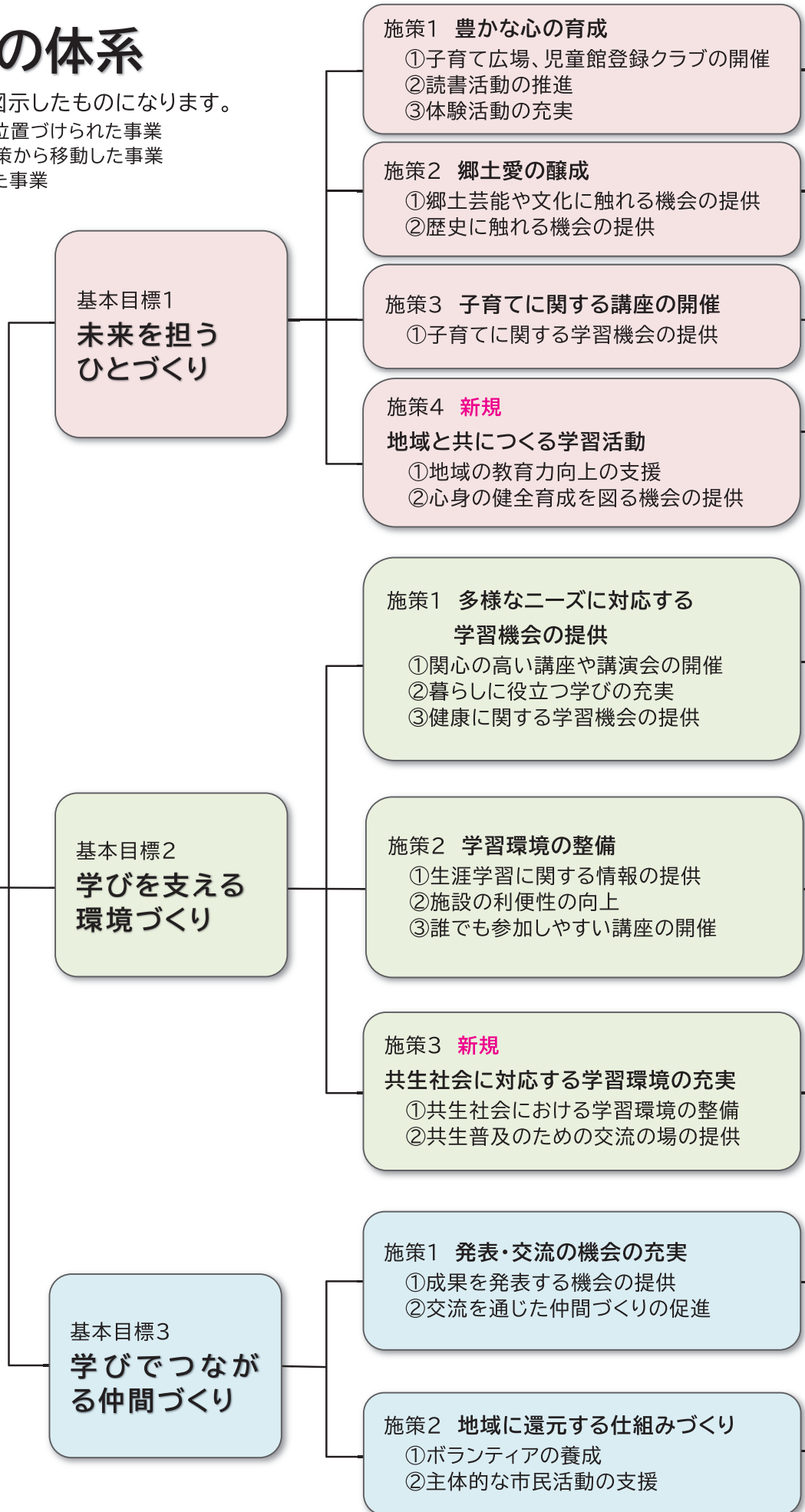
また、学んだことを生かせる場がより一層増えるように努めるとともに、市民が生涯学習で得た知識や経験、技術などを用いて、学びでつながった仲間とともに、まちづくりに関わる機会が増えるようにサポートします。

### 3 計画の体系

本計画の体系を図示したものになります。

※赤文字：新たに位置づけられた事業  
青文字：他の施策から移動した事業  
緑文字：拡充した事業

目指す姿  
キャッチフレーズ  
学びでつながるひとづくり  
学びをいかすまちづくり  
学びあひ 支えあい ともに輝く かみす



○子育て広場の開催 ○おはなし会の開催 ○赤ちゃんタイム・キッズタイムの開催  
 ○児童館登録クラブ・教室の開催 ○子ども芸術劇場の開催 ○文化芸術を鑑賞する機会の提供  
 ○学校★(ほし)ほんお届けサービス ○児童体験交流事業の開催

○収蔵品展の開催 ○いばらきっ子郷土検定(新規)  
 ○伝承教室・伝承あそびの開催(拡充)

○就学時子育て講座の開催 ○ニューファミリーセミナーの開催  
 ○子育てに関する講話の開催 ○子育て両親学級の開催  
 ○マタニティセミナーの開催 ○子育てと仕事両立支援セミナーの開催

○地域子ども教室の開催(変更) ○学校体育施設開放事業の拡充(新規) ○コミュニティ・スクールの推進(新規)  
 ○家庭教育学級への支援(変更) ○地域クラブ活動の推進(新規)

○定期講座の開催 ○消費生活講演会・講座の開催 ○健康づくり講座・講演会の開催  
 ○パソコン講座の開催 ○自然環境調査報告会の開催 ○介護予防に関する教室の開催  
 ○かみす市民カレッジの開催 ○エコ体験教室の開催 ○シルバーリハビリ体操の実施  
 ○矢田部公民館講演会 ○かみす出前講座の開催 ○家族を対象とした介護教室の開催  
 ○企画展の開催 ○高校生の進路アシストカレッジ ○生きがい講座の開催  
 ○歴史見学会の開催 ○地域ネットワーク勉強会の開催 ○生涯大学の開校  
 ○高齢者スポーツ教室の開催 ○福祉専門講座の開催 ○若い世代に向けたライフデザインセミナーの開催(新規)  
 ○文化芸術を鑑賞する機会の提供 ○男女共同参画に関する講座・講演会の開催

○消費者教育の推進 ○広報紙の発行 ○親子講座の開催  
 ○県主催の講座などの案内 ○図書館資料の整備 ○託児付き講座の充実  
 ○施設見学が可能な企業の情報提供 ○利用しやすい施設の整備  
 ○生涯学習情報誌「まなびアイかみす」の発行 ○ボランティアセンターのホームページの運営  
 ○「社協ニュース」の発行 ○夜間や休日での定期講座の開催  
 ○「ボランティアセンターマガジン」の発行 ○ホームページや SNS などによる情報提供

○インクルーシブスポーツの普及促進(新規) ○やさしい日本語講座の開催(新規) ○図書などの配送貸出(新規)  
 ○手話言語の普及の促進(新規) ○外国人向けの日本語ひろばの開催(変更)  
 ○かみす福祉まつりの開催(新規) ○福祉教育に関する出前講座の開催(変更)

○コンサート in 図書館の開催 ○芸能発表会の開催 ○異世代が交流する機会の設定  
 ○図書館の展示スペースの貸出 ○ボランティア交流会の開催 ○スポーツレクリエーション祭の開催  
 ○芸術祭の開催 ○歴史・民俗に関する交流会の開催 ○霞ヶ浦清掃大作戦の実施  
 ○美術展の開催 ○多文化交流事業の実施 ○市民音楽祭の開催(新規)  
 ○みんなのギャラリーの貸出 ○スポーツレクリエーション大会の開催 ○わたしの主張発表大会の開催(新規)

○図書館ボランティアの養成 ○ボランティア養成講座の開催 ○地域食育サポーターの養成 ○人材バンクの活用  
 ○地域支援サポーターの養成 ○シルバーリハビリ体操の指導士の養成 ○海岸清掃の実施  
 ○防災士の養成 ○子育てサポーターの養成 ○フラワーロード花植えの実施  
 ○ボランティアセンターの運営 ○食生活改善推進員の養成 ○市民活動支援センターの運営